

事業評価票

104	消防活動時における太陽光発電システムの危険性に関する検証 (東京消防庁消防技術安全所／一般会計)	事業開始	平成 24 年度
		事業終了予定	平成 24 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか	
○ 太陽光発電システムは、他の代替エネルギーとともに、今後、普及の拡大が見込まれる。 ○ 昨年、東京消防庁管内において、残火処理活動中に太陽光発電システムに起因する感電事案が発生した。また、がれきとなった太陽電池パネルが通電している事例があり、火災鎮火後の再燃危険も懸念される。 ○ 太陽光発電システムに対する消防活動時の感電及び再燃危険について、現有資器材等を用いた防止方策等を検証し、消防活動要領等の資料として活用するとともに、消防活動時の安全管理、再出火防止に万全を期することを目的としている。	
根拠法令等	消防技術の改良及び消防活動等の安全対策等のための業務に関する規程

2 どのように取り組み、どのような成果があったか	
○ 太陽光発電システムに対する現在の活動は、現有資器材を活用して、考えうる安全策を講じて活動しているが、裏付けとなる明確な根拠が無く、隊員の経験に基づくものとなっている。	

3 どのような課題や問題点があったか	
○ 残火処理活動中に太陽光発電システムに起因する感電事案が発生した。また、がれきとなった太陽電池パネルが通電している事例があり、火災鎮火後の再燃危険も懸念されている。 ○ これまで、他の機関も含め、太陽光発電システムに対する消防活動について、検証した機関はなく、今後の太陽光発電システムの普及拡大に備え、早期の検証が求められている。	

4 局として、事業をどうしていきたいか					
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実		<input type="radio"/> 見直し・再構築	<input type="radio"/> 移管・終了	<input type="radio"/> その他	
○ 太陽光発電システムに対する消防活動時の感電及び再燃危険について、現有資器材等を用いた防止方策等を検証し、消防活動要領等の資料として活用するとともに、消防活動時の安全管理、再出火防止に万全を期す。					
歳入	22年度決算額	— 千円	歳出	22年度決算額	— 千円
	23年度予算額	— 千円		23年度予算額	— 千円
	24年度見積額	— 千円		24年度見積額	4,744 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか	
○ 太陽光発電システムを起因とした事故については、太陽光発電への需要の高まりから、今後さらに、事故発生の増加が懸念される。 ○ 消防活動時における太陽光発電システムの危険性については、これまでの消防活動においても指摘されており、早急に検証を行い、消防活動要領等の資料として活用し、消防活動時の安全管理、再出火防止を図る必要がある。	

6 24年度予算で、どのように対応したか					
<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実		<input type="radio"/> 見直し・再構築	<input type="radio"/> 移管・終了	<input type="radio"/> その他	
○ 局案どおり予算を計上する。					
歳入	24年度予算額	— 千円			
歳出	24年度予算額	4,744 千円			